

フンって言われたんだっての続きです

⑩ 9

2010. 12. 16

JR東海労東二運分会

日夜 安全確立とBQ向上に取り組んでいる みなさん

覚えているでしょうか？ 組合員Aさんに 熱い営業助役さんの添乗があったことと、指摘事項を報告書に書かなかったために運転助役さんに「前訓練」を押されたこと。そしてフンって言われたことを⑩7で書きました。その⑩7に、添乗中に「迷惑なこと多々ありも詳細は後日」と予告してあった内容をAさんが本当に後日 報告してくれました。特徴的なことは3つでした。

新横浜到着 直前の「指摘事項」通告が一方的で到着放送やドア扱い、ホームの安全確認に支障があったことが **1つ目**です。

2つ目は、降車時にドアを開けるにも苦勞するN700の狭い乗務員室のドア前に置いてあった邪魔な乗務鞆です。やむなくAさんは熱い営業助役さんに断って 移動しました。(鞆は異常に軽かったそうです)

3つ目は、添乗中の試問で、故障で客終合図が出来ないと通告があった時はどうしますか、がありました。Aさんは、昼間は赤色旗を絞って…、夜間は白色灯を… と答えました。が 熱い営業助役さんは「赤色灯を確認してどうするのですか」と畳みかけてきました。

賢明な皆さんは もうお分りですね。Aさんは「白色灯を…」と答えたのに 熱い営業助役さんは「赤色灯を…」と切り返してきたのです。Aさんは「UBS引き」と答えようかと迷いましたが、多分 熱い営業助役さんは勘違いしているのだと思いつつも、意を決して「赤色灯ですか？」と2回 聞き返しましたが、熱い営業助役さんは2回とも自信を持って「赤色灯…」を繰り返しました。

Aさんは仕方なく「白色灯の間違いではないですか？」と聞いたところ、やっと気付いた 熱い営業助役さんは少し慌てた様子だったが、気を取り直したのか「白色灯…」と訂正しました。ただ、勘違い、間違いだったとは言いませんでした。

どれも 車内業務を熟知している とはとても思えません

皆さんは便乗の時、どうしますか？ 例えば、鞆の置き場所、椅子の使い方など細かく気配りしますよね。本務車掌が到着放送やドア扱いをする時、車内巡回に出る時や戻ってきた時は椅子から立ち上がって車掌業務、すなわち安全やBQの邪魔にならないように席

を立て協力しますよね。

車掌業務を熟知しているとは思えない、熱い営業助役さんには、添乗指導の資格がないのではと思いませんか。指摘するだけの知識も技術も持ち合わせていないと思いませんか。助役としての資質をも疑いませんか。人は時として勘違いや間違いをします。勘違い、間違いを指摘されたら素直に謝りましょう。まして、不断に注意指導や指摘をし、時系列だ始末書だと声高に言っている立場にある人はその手本にならなければなりません。科長や助役さんが、よく言う 社会人 なら当然のことでしょう。

残念ながらこの 熱い営業助役さんはそのことが分っていないようです。熱い営業助役さんだけでなく他のほとんどの助役さんからも、申し分け有りません という言葉を聞いたことがありません。聞こえるのは何時も、それらしい言いつくろいの言い訳ばかりで、とても常識ある社会人とは思えません。

場面は違いますが、これも A さんからの報告です

乗務点呼での 試問に答えたところ、さらに次の試問 がありました。Aさんが 分りませんと答えたえると、運転助役さんは「Aさんは、いつも分らないとしか答えませんね」と、事実反する言いがかりをつけられました。

Aさんは、今 答えました。いつもではないでしょう、と間違いを指摘したところ運転助役さんは「完全に答えていません」と、興奮しながら言い訳にもならない開き直りの後、「点呼終わり」、でした。確かに、いつも完全には答えていませんでした。ヤレヤレです。

このようなAさんの報告は、単に 熱い営業助役さんや運転助役さんの揚げ足を取った暴露話ではありません。労務管理の為にのみ添乗し、また試問している現実を指摘しているのです。安全を脅かしサービスを低下させる添乗と試問 は直ちにやめるように、皆で言いましょう。安全確立と、BQ向上の邪魔をしないで、とも。

ちなみに、添乗の 熱い営業助役さんは、Aさんに「暴言です」と言った助役さんと同じ助役さんです。残念な職場です。

「社会人？ 常識求める 非常識」 C D 頑爺